

## No.ex3901

芽吹きを求めて

### 熊倉山～生藤山

実施日 2010年5月3日(月・祝)  
天候 晴れ  
リーダー 馬場 清士  
参加者 友近洋子、渡辺清、佐藤金治、山口駿三、馬場清士、涌井良明、荻野智恵子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、柴田正喜、中村友子、石原勝正、柴田政春  
計 14 名

費用 2,000 円  
タイム 武蔵五日市(9:00 バス)上川乗(9:45)登山口(10:00)神社(10:40)浅間峠(11:15～11:50)昼食)熊倉山(12:40)軍刃利神社(13:05)三国山～生藤山往復(13:20～13:45)甘草水(14:00)佐野川峠(14:10)石楯尾神社バス停(14:50～15:27 バス)上野原駅(15:50)

ゴールデンウィークのさなか、プライベート山行の声を掛けたところ、14名もの参加があり会山行に変更した。

武蔵五日市駅前のバス停は臨時バスが出るほどの賑わいを見せていた。

9時発の満員のバスに揺られ、秋川沿いの檜原街道を里山の新緑を見ながら行く。上川乗のバス停で降りたのは、こぶし会のメンバーだけであった。

バスの中のハイカーは三頭山方面に行くのだろうか。バスを降りて上野原方面に行く街道を暫く行き、駐車場前の浅間峠の標識から山道に入る。

杉の植林地の中いきなりの急登で汗が噴き出る。高度を稼ぎ尾根に乗った所に小祠が建っているところで小休止とした。

杉林の鬱蒼とした場所で季節感が無い。尾根沿いに

行くと平坦な場所に東屋が建っている、ここは笹尾根の縦走路と合流する浅間峠だ。

名残の山桜や自然林の新緑が眩しい

長閑なところで昼食とした。

縦走路を左に熊倉山へ向かう、小ピークを幾つか越えて、尾根を急登すると熊倉山頂だ。南面が開けていて道志山塊の奥に丹沢山塊が見え、ぼんやりと富士山が霞んで見える。

熊倉山を下ると自然林の中にカタクリの群生地がある。すでに終わっていたが変わりにスミレが咲き誇っていた。

尾根道は4月には山桜やミツバツツジが咲くところで、暫く行くと軍刃利神社に出る、名残の山桜が咲いていた。急な階段を下りて登り返すと三国山だ。ここも南面が開けていて素晴らしい眺めだ。此処から生藤山を往復し甘草水へ下る。

甘草水は桜の時期にはソメイヨシノが美しい。なおも下ると佐野川峠に出て、杉林のジグザグの急降下を過ぎ、谷沿いの道を下ると石楯尾神社バス停に出た。

桜もミツバツツジも終わっていたが、芽吹きの新黄色と新緑、可憐に咲いているいろいろなスミレに心癒んだ山歩きでした。

参加された皆さん有難うございました。桜の時期にまた行きましょう。

(記・馬場 清士)

(写真提供・涌井 良明)

